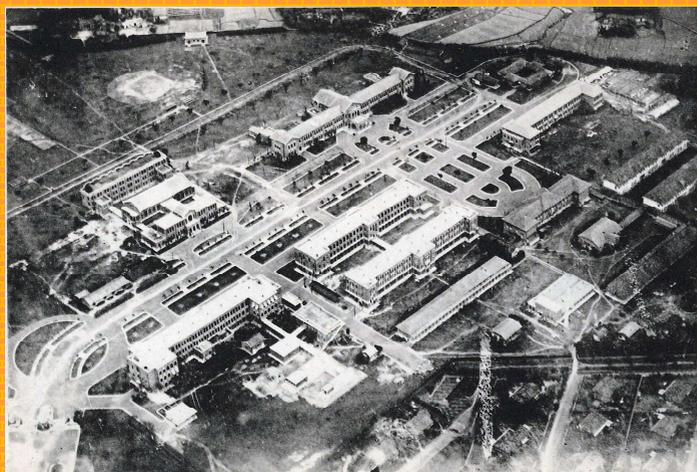
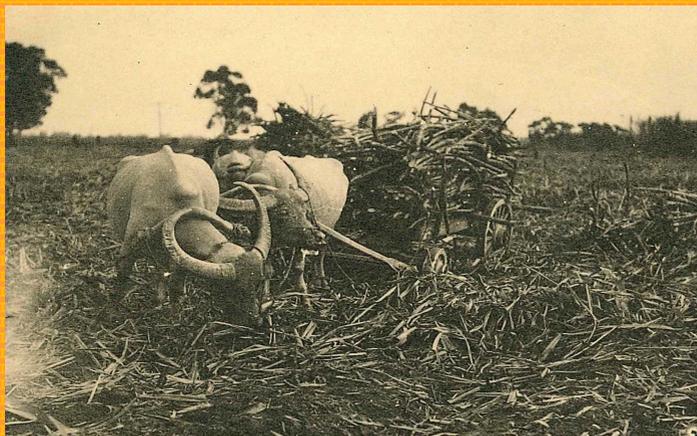


北海道大学附属図書館・大学文書館共催企画展示



(上) 台湾のサトウキビ畑 (1927年撮影、星野勇三旧蔵写真/大学文書館蔵)

(下) 台北帝国大学全景 (1931年10月撮影、『台北帝国大学一覽 昭和八年』
/附属図書館蔵)

「台湾は天然の恩恵裕なる」

——植民地台湾を駆けた北大卒業生たち

《第三期 学問と実業》 高等農林・帝大と民間企業において

場所：北海道大学附属図書館玄関ロビー

期間：2013年4月6日～2013年7月31日

あいさつ

附属図書館・大学文書館共催展示として、「台湾は天然の恩恵裕なる」——植民地台湾を駆けた北大卒業生たち」（全3期）の資料展示を開催します。

戦前期、多くの札幌農学校・北大卒業生が台湾に渡り、台湾総督府官吏、農事試験場技師、製糖会社経営者、大学・農業学校の教員などとして、日本による台湾植民地統治を下支えしました。同時に、台湾へ様々な学術・技術を持ち込みました。

また、彼らは、生まれ故郷である日本各地や学生時代を過ごした北海道と全く異なる台湾の風土に、一様に強い関心を抱いています。台湾総督府技師を務めた芳賀鋤五郎（札幌農学校第20期生）が台湾産果樹について述べた“台湾は天然の恩恵裕なる……”の言は、彼らの学問的求知心を示しています。

こうした台湾への学問的関心から生まれた知識、北大で学んだ学術・技術は、その普遍性ゆえに、台湾の植民地統治という目的の政治性や時代性から乖離して、台湾の産業・社会・文化の展開に大きな影響を与えていくという一面も見られました。

この展示では、植民地台湾を駆けた北大卒業生たちの人物と活動を紹介し、彼らの担った歴史的役割の多面性を考えます。

展示は、渡台時期による特徴に従い、3期に分けて構成します。

《第Ⅰ期 統治》台湾総督府の実務を担って

《第Ⅱ期 技術》試験場・研究所の技師として

《第Ⅲ期 学問と実業》高等農林・帝大と民間企業において

展示の概要

《第Ⅲ期 学問と実業》高等農林・帝大と民間企業において

台湾最大の産業は製糖業でした。多くの北大卒業生が、サトウキビの育種・栽培や砂糖製造工程の技師、または経営・管理者として民間製糖会社に入社しています。彼らは、台湾製糖業界での仕事を足掛かりに、台湾の他の産業や台湾外の製糖業へと転身していく場合もありました。

一方、台湾総督府は1919年に農林専門学校（後に高等農林学校）、1928年に台北帝国大学を設置し、農業高等教育と農学研究に力を入れました。両校設置を主導した大島金太郎（札幌農学校第11期生）が農林専門学校長・台北帝国大学理農学部長に就任し、自身がトップを務めていた総督府中央研究所農業部の北大出身技師たちを台北帝国大学理農学部教授に転身させ、高等農林学校教員には若手の北大卒業生を採用しました。両校で大島を中心に強固な北大閥を形成し、後に、山根甚信（畜産学）、素木得一（昆虫学）、三宅捷（農芸化学）が台北帝国大学理農学部長を、八谷正義（林学）と野田幸猪（農学）が高等農林学校を改組した附属農林専門部主事を務めました。

1945年、敗戦により、渡台した北大卒業生は日本へと引き揚げました。一方、台北帝国大学接收を担当した羅宗洛（北大卒業生）らの意向で、大学教員は、数年間、後進校の国立台湾大学に留任しました。そして、松本巍（植物病理学）は、留任期間終了後も、病で帰国するまで20年近くにわたり国立台湾大学教授として教育・研究を続けました。

展示資料の構成

- I. 民間企業の実業
- II. 高等農林学校の教育
- III. 台北帝国大学の研究
- IV. 敗戦のその後も

展示資料の紹介



1. 台北帝国大学理農学部卒業記念(1933年頃)

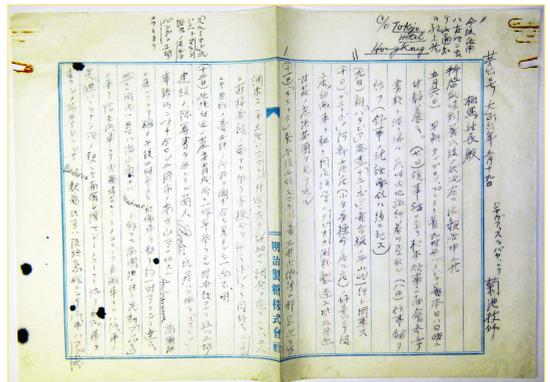
大島金太郎（理農学部長）のほか、教授となった素木得一、澁谷紀三郎、山根甚信、磯永吉たち、北大卒業生の姿が見られる。

（澁谷紀直氏寄贈資料／大学文書館所蔵）

2. 明治製糖会社社長相馬半治宛ての菊池捍のジャワ報告(1917年5月)

菊池捍は、相馬の命を受けて、ジャワに甘蔗栽培用土地と製糖工場の買収のための調査を行ない、相馬に状況を報告している。

（菊池捍関係資料／大学文書館所蔵）



資料パネルの構成

1. 《地図》「台湾全島地図」(1928年5月)
2. 《写真》「台湾糖業界の北大卒業生たち」(1935年1月、台南市)
3. 《写真》「台北帝国大学附属農林専門部の校舎」(1913年頃、台北)
4. 《写真》「台北帝国大学理農学部卒業記念」(1933年頃)
5. 《年表》「台湾植民地統治と北大卒業生の関連年表」
6. 《リスト》「台北帝国大学附属農林専門部教授に就いた北大卒業生」
7. 《リスト》「台北帝国大学理農学部教授に就いた北大卒業生」
8. 《写真》「台北帝国大学全景」(1934年6月)

パネルの構成

《人物紹介パネル》

I. 民間企業の実業

1. 菊池捍 (札幌農学校 11 期生)
2. 池田競 (1908 年卒業)
3. 柳澤秀雄 (1916 年卒業)
4. 濱口榮次郎 (1916 年卒業)

II. 高等農林学校の教育

5. 大島金太郎 (札幌農学校 11 期生)
6. 八谷正義 (1915 年卒業)
7. 野田幸猪 (1917 年卒業)
8. 鹿討豊雄 (1922 年卒業)

III. 台北帝国大学の研究

9. 素木得一 (札幌農学校 23 期生)
10. 磯永吉 (1911 年卒業)
11. 山根甚信 (1913 年卒業)
12. 松本巍 (1916 年卒業)

IV. 敗戦のその後も

《回想パネル》

- I. 「台湾糖業の先輩たち」 宮島博
- II. 「“土”は農林業の基礎である」 大島金太郎
- III. 「教授会はいつも大もめ」 素木得一
- IV. 「台北帝国大学の接收」 山根甚信

ほっかいどうだいがくだいがくぶんしょかん

北海道大学大学文書館

〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目 北海道大学附属図書館4階

- 〈 電話・ファックス 〉 011-706-2395
〈 メールアドレス 〉 archives@general.hokudai.ac.jp
〈 ホームページ 〉 <http://www.hokudai.ac.jp/bunsyo/>